

【オリコンサルら AIを活用した乗合タクシー 中山間地域で実証実験
利用者から好評得る】

AI活用した乗合タクシー

中山間地域
で実証実験

利用者から好評得る

オリコンサルら

オリエンタルコンサル
タックスは、伊那市、未来
シェアと共同で、「AI
最適運行・自動配車サー
ビス（ドアツードア乗合

タクシー）」実証実験を、
3月12日から16日まで
実施した。写真。5日間
で延べ207人が活用
し、利用者から好評を得

た。

高齢化や過疎化が進む
地方部では、地域の生活
の足となる公共交通の維
持が課題となっている。
伊那市は、地域公共交通
の課題解決に向けて、オ
ンデマンドでタクシーを
配車する乗合タクシー運
行サービスを導入し、高
齢者等の移動支援を行う
中山間地域における新し
い交通システムの構築を
目指している。同サービ
スは、ドアツードアも含
めた域内外の移動に対す
る利便性の向上を図る
とともに、AIを活用し
車両の配車効率化による
稼働率の向上、経営の効

率化などが期待される。

実証実験は、伊那市の
一部地域の住民（人口約
5000人）を対象に、
地域内、地域と市街地、
市街地内における移動サ
ービスを4台のタクシー
によって快適で安全なモ
ビリティを提供し、通院
や買い物、交流、レクリ
エーション、文化活動、



行政手続き等の移動に活
用された。

同社は、実証実験で企
画からコールセンター
（予約受付）の運営を行
い、その評価や期待を計
るアンケートを実施した
ところ、利用者から好評
を得た。

交通計画を専門とする
高瀬達夫信州大学工学部
准教授は、「中山間地域
の高齢者の移動の特徴と
して、病院、スーパーな
ど主な目的地が限られて
いるため、実証実験での
乗合いタクシーは、有効
な一つのサービス形態と
して期待できる」とコメ
ントしている。

同社は、実証実験の運
行状況や利用者アンケー

ト結果から、導入する際
の課題、求められるサー
ビスレベルを把握し、自
治体と連携して地域に導
入できる仕組みを構築す
ることを考えている。今
後は、変化する社会に応
じて、中山間地域も含め
た交通まちづくりを先導
的に推進し、総合的な地
域活性化に貢献してい
く。